

[第665回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和6年3月13日(水) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 大阪放送 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 鎌田 雅子
上林 寛和 内田 透

放送事業者側出席者の氏名

吉野 達也 志知 直哉
上野 慶子 横井 宏司

4. 議題

1) 番組審議 『hanashikaの時間。』(1/8(月)放送分)

2) その他

5. 議事の概要

議題1) 『hanashikaの時間。』について、番組の企画意図と内容を説明し、審議に入った。

社側 この番組は「モアトーク」のキャッチフレーズのもと、月～木・18時00分～19時45分の生ワイド番組として2019年の4月からスタートしました。メインパーソナリティには、毎日日替わりの落語家を起用し、演芸界はもちろん、時事ネタ、スポーツ、芸能、ライフスタイル等々、嘶家ならではの切り口でトークをお届けしています。アシスタントも日替わりで若手から重鎮までの松竹芸能所属の女性が務めています。リスナーが参加しやすいメール・FAXを紹介する枠を設けるとともに様々なコーナーを設け各曜日ごとに違った色を出しています。月曜日の出演者は、笑福亭鉄瓶てっぺい、松本美香。その他、松竹芸能の若手落語家によるユニット・五

楽笑人のメンバーによる週替わりコーナー（今回は笑福亭喬介が担当）や、今後の活躍が期待される若手・桂治門が担当するコーナーなどを作る事によって、他曜日との差別化を図っています。今回審議していただく内容は、2024年1月8日（月・祝）18:00～19:45 に放送したものです。よろしくお願い申し上げます。

<各委員のご意見>

委員 この番組は普段からよく聴いており、今回も終始楽しく拝聴した。冒頭の笑点出演の話は、笑福亭鉄瓶さんが同い年で同期の春風亭一之輔さんを意識されていると言葉の端々から感じ取れる所があり、面白かった。他の曜日との差別化のため、五人笑楽の一人が出演するコーナーがあるのは良いと思う。曜日毎に個性が出て良い番組だと思うので、長く続いて欲しい。

委員 落語に詳しく無いので分からない固有名詞が多々あり、イメージできない部分があったが、それ以外は終始楽しく聴いた。鉄瓶さんと松本さんの掛け合いはテンポが良くて聞き取りやすかった。笑福亭喬介さんの旅日記が面白かった。治門自答ではミーハーの語源、林長二郎の話になった時に長谷川一夫さんと同一人物だという説明をきちんとして欲しかった。

委員 落語家の方はトレーニングをされているので、言葉と言葉の間の入れ方などが絶妙で聴きやすかった。ラジオというメディアと噺家がマッチするのは新しい発見だった。個人的な意見として落語の小噺などをラジオで聴く機会が有れば良いなと思った。

委員 鉄瓶さんの落ち着いた語り口とともに、松本さんの一つ一つの返しが、芯を食っていて素晴らしい。2人の掛け合いが番組のリズムを作り上げていると思う。治門さんの「治門自答」では、なるほどとは思うものの、どこか辞書的な感じもある。もう少し強いトリビアがあると、なお興味深くなるのではないか。他の曜日を含めてますますパワーアップし、より良い番組になればと思う。

委員 放送の時間帯も丁度良いし、絶対に放送されて欲しい番組だ。喬介さんの旅の話は案外面白かった。冒頭の笑点の話の中で大阪人特有の自虐ネタという話があったが、その話をもう少し深掘りして盛り上がるネタになったと思う。全体の番組の流れはおもしろいので評価する。松本さんの面白さがもう少し出ると良いなと思った。落語を応援したいので、もっと盛り上がって欲しい番組ではある。

委員 この番組の他曜日のパーソナリティを含め、上方落語を応援している。

特に喬介さんの発声が聴きとりやすかった。落語家はラジオで話続ける事によって話術が磨かれると思う。全体的には結構な構成で、これからが楽しみな番組。

社 側 貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

6. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日

な し

7. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・ 「番組審議会だより」 (第665回大阪放送番組審議会議事録の要約)
「ラジオ大阪番組審議会レポート」 内で放送
放送日 令和6年4月21日(日) 6時10分～6時15分
- ・ 「番組審議会だより」 (第665回大阪放送番組審議会議事録)
ラジオ大阪ホームページ (<http://www.obc1314.co.jp>) に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

8. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上